

# ワクチン接種を受けたらいいのでしょうか？

信金中金月報掲載論文編集委員長  
地主 敏樹  
(関西大学 総合情報学部教授)

感染拡大第5波の下、日本ではワクチン接種がうまく進まないうちにデルタ変異株がまん延しています。この文章がみなさまのお目に留まる頃には、沈静化へ向かっていくと良いなと願っております。思い返しますと、夏休み前はやや小康状態でしたので、関西大学ではオンライン講義と対面講義が併存する状況でした。私のゼミナールでは、感染リスクを回避したい学生がオンライン参加を希望するので、ハイブリッド形式にしていました。そんな中、下宿生活をしているゼミ生から、ワクチン接種についての相談を受けました。大学の職域接種で、学生も接種が可能となっていたのです。

親元から離れていることもあって、強い副作用が起きた時が不安だという内容でした。私は入手していた情報に基づいて、「副作用については、確かに若い女性の確率が高い傾向があるみたいだね」と認めつつ、「1回目接種での副作用発生確率は低いみたいだから、少なくとも1回は受けてみたらどうかな。感染予防としては、1回だけでも、0回よりはましみたいだよ。」という趣旨で話したことを覚えています。彼女の実家のある地域も、第5波の下では感染が広がっています。受けてくれていれば良いなと思っています。

ワクチン接種を回避する傾向は各国で報告されています。わが国では希望しつつも接種できていない人々が多かったのですが、先進各国では全く状況が異なりました。アメリカをみると、晩春にはワクチンが余るようになった一方で、接種を受けたくないという人々が多く残ったことが問題化していました。4月末頃にNYタイムズ紙が調査したところ、未接種の人々は、様子見やコスト(副作用)重視の第1グループと、反医療やコロナ懐疑の第2グループとに、2分されていることが分かりました。合計すると成人人口の4割近いと推定されていました。

この報道に関して、経済学入門の講義において、中間テスト(レポート形式)で尋ねてみました。経済学では合理的な人々が費用と便益を比較して意思決定すると考えています。そこで、ワクチン接種を受けない人々の選択を合理的に説明してみることを求めました。次に、複数の州で接種促進策として導入された「ワクチン接種者への宝くじ配布」の効果について、評

価させました。過半の学生が、「第1グループにはある程度効果的だろうが、第2グループにはあまり効かないだろう」と答えて、それぞれに説明してくれました。第2グループの選択を合理的な枠組みで理解しようと試みて、「信条に反する行動をとる費用が大きいと考えたり、接種の便益を小さく評価したりしているのだろう」という趣旨の回答に、相当数の学生が辿り着いてくれました。実際にも、その後のデルタ株まん延に応じて、第1グループではワクチン接種が進みはじめたそうです。

講義ノートを見せながら説明する動画を好きな時間にオンラインで見てもらおうオンデマンド形式の講義(+復習用のオンライン小テスト) だったのですが、教育効果は対面の大講義とあまり変わらないようです。学生の反応が見えないので改善の余地はあると思いますが、もともと大講義での質問は少ないものです。学生側は分かりにくい箇所を繰り返して見ることもできます。ほぼ例年通りの内容と進行速度なので大丈夫だろうとは思っていましたが、安心しました。

レポートもオンライン提出で、類似レポートは自動チェックをかけて調べています。私はPCに2画面を繋いでいるので、第1画面にダウンロードしたレポートを映して採点し、第2画面のオンライン採点画面に入力しています。採点したレポートは、成績にクレームがついた時のために、保存しておきます。紙は不要になりました。DXとまでは言えないでしょうが、生産性は向上したと思います。なお、「シンプルな正解」のない問題を出そうと試みていますが、その成功度合いはどうか。本やネットで調べて構わないので、自分なりに苦心して解答を作成してくれたら、大成功なのですが。

コロナ禍でもやはりツワモノはいるもので、昼間はひたすらアルバイトに精を出し、夕刻も飲食店でアルバイトをして、深夜になってから講義動画を見ている学生もいるようです。コロナ禍の下、収入は増えたそうです。卒業したらキッチンと稼げるのに勿体ないとも思えますが、経済の一部分をそうした労働力が支えていることも確かです。所得急減世帯の学生向けに大学も支援していますが、自分で稼いで学費を払っている学生も少数ながらいるはずです。リーマンショック以降でしょうか、そうした学生もゼミナールに入ってくるようになりました。懇親会とか研究補助のアルバイトの折に、ポツリと話してくれます。日本の全般的な生活水準が停滞しがちになって、不運に見舞われた家庭では学費が払えない事態が例外でなくなったように思われます。日本経済には、丹念なモノづくりの伝統があり、おもてなしに代表される見事なサービスもあるのに、これほどに停滞してしまったのはなぜでしょうか。輸出維持のために円安を歓迎してきたことが、国際的にみた相対的な所得水準を低下させてきたことは明白ですが、その根本には生産性鈍化があるように思われます。DXの遅れがその主原因であるのなら、今回のコロナ禍を危機バネにしてキャッチアップできることを、期待したいと思っています。